

運転手のはたらく幸せ ～自動運転化と人間としての繋がり～

田中皓介（京都大学）・新木元太（東京理科大学）

序論

背景

- ・ 人手不足の深刻化
- ・ 土木バッシング
- ・ 人工知能への期待と不安
- ・ 労働のマニュアル化
- ・ ブルシットジョブの蔓延
- ・ エッセンシャルワークの見直し

目的

世論や社会状況への認識や
地域住民との関わりを考慮し
建設・運輸分野ではたらく人の
意識構造について明らかにする

調査概要

- ・ Webアンケート（楽天インサイト）
- ・ 2023年1月20日～24日
- ・ 有効回答数：建設業・運輸業各300ss
※運転手は155ss
- ・ 年齢：20代～60代
- ・ 男女比：男：女 = 49：11

質問項目

- ・ 基本属性
- ・ 幸せ・不幸せ実感：各5項目
- ・ 幸せ・不幸せ状態：各7×3=21項目
- ・ **仕事観**
- ・ **業界認知/社会認知/住民接触** etc

ポイント その1

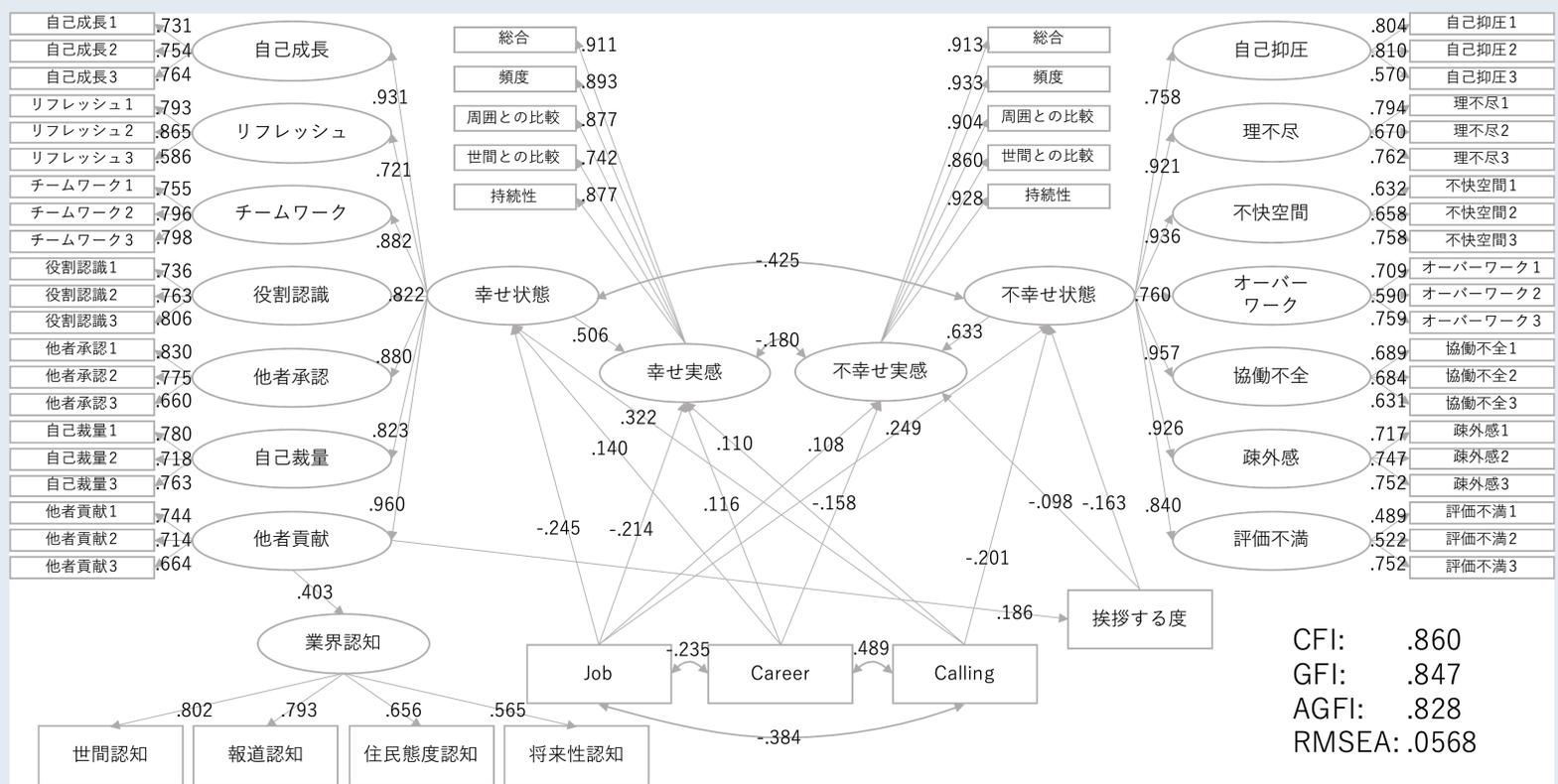
仕事観

Jobの仕事観：Aさんは、主に生活を支えるためのお金を稼ぐために仕事をしています。もし経済的に安定しているのなら、今の仕事を続ける必要性もないと考えています。Aさんにとって仕事は生活を支えるために仕方なくするものです。仕事中には「早く仕事の時間が終わってほしい」と思い、週末や休暇を待ち遠しく思っています。もし人生をやり直すならば、特に同じ仕事に就きたいとも思わず、友人や子供に同じ仕事を勧めることもないでしょう。

Careerの仕事観：Bさんは、基本的に仕事を楽しんでいますが、今よりさらにスキルアップやキャリアアップしたり、場合によっては転職して高いレベルの仕事をしたいと思っています。スキルアップやキャリアアップなど、将来のゴールを達成するために、仕事を頑張っています。時には仕事が時間の無駄と思えることもありますが、今の仕事を十分にやり遂げることで、早くレベルアップしたいと思っています。Bさんにとっては自分の仕事ぶりが認められ、他者との競争の中で成功を取ることが喜びです。

Callingの仕事観：Cさんにとって仕事は、人生の中で最も重要なもののひとつで、仕事にとっても満足しています。Cさんは、仕事の中に働く意味を見出し、それをお金と同等か、それ以上に大切に思っています。仕事をすることで、社会をよりよく、また周囲の人々を幸せにできると信じており、社会との繋がりを持つことや社会に貢献できることをうれしく感じています。もちろん今の仕事も誇りに思っていますが、仕事はあくまでも手段の一つであり、たとえ異なる仕事であっても、誇りをもって働けるでしょう。

総合結果



ポイント その2

社会状況認知との関連

	幸せ実感	不幸せ実感
世間認知	.332**	-.226**
報道認知	.224**	-.148**
将来性認知	.368**	-.255**
住民態度認知	.232**	-.177**

※表中の数字は相関係数/**: p<.01

AIへの過度の期待は
現場の幸せ実感に影響

	幸せ実感	不幸せ実感
AI不安	-.093**	.210**

※表中の数字は相関係数/**: p<.01

業界への人々の理解を
どう認知するかが関連

「挨拶」の効果

	幸せ実感				不幸せ実感			
	Mean	t 値	p 値	d	Mean	t 値	p 値	d
挨拶する群 (n=122)	4.05	1.81	.071+	.238	3.11	2.02	.044*	.265
挨拶しない群 (n=111)	3.71				3.49			
挨拶される群 (n=109)	3.94	0.49	.622	.065	3.20	0.97	.335	.128
挨拶されない群 (n=124)	3.85				3.38			

※6件法/*: p<.05, +: p<.10

日頃の生活での
態度とも関連

	幸せ実感	不幸せ実感
挨拶する度	.140**	-.278**

あいさつをされるのではく
あいさつするという
「能動性」が影響

※挨拶する度
「いつもしている」=3点、「時々している」=2点、「ほとんどしていない」=1点、その他の回答=0点とし、これを「警備員」「清掃員」「配達員」「スーパーやコンビニエンスストアの店員」の合計0から12点/表中の数字は相関係数/**: p<.01

まとめ

結果

- ・ 「カネ」よりも「キャリア」そして「意義」のためと思えることの重要性
- ・ 幸せ/不幸せ実感と人間関係要因の関連
 - ・ 「他社貢献」「自己成長」のポジティブな影響
 - ・ 「協働不全」「疎外感」「理不尽」のネガティブな影響
- ・ 土木バッシングの労働者への影響
- ・ 科学技術への過度な期待への懸念
- ・ 人間同士のつながり回復のための「挨拶」

留意点

- ・ 今回の検証は「相関」止まりであり
幸せな人が挨拶している可能性も
- ・ 主観的項目だけでなく、労働環境や給与など
客観的指標も含めた分析